

# 大湾区情報 No. 57

グレーターベイエリア情報 発行：2023年4月18日



## 【今号のトピックス】

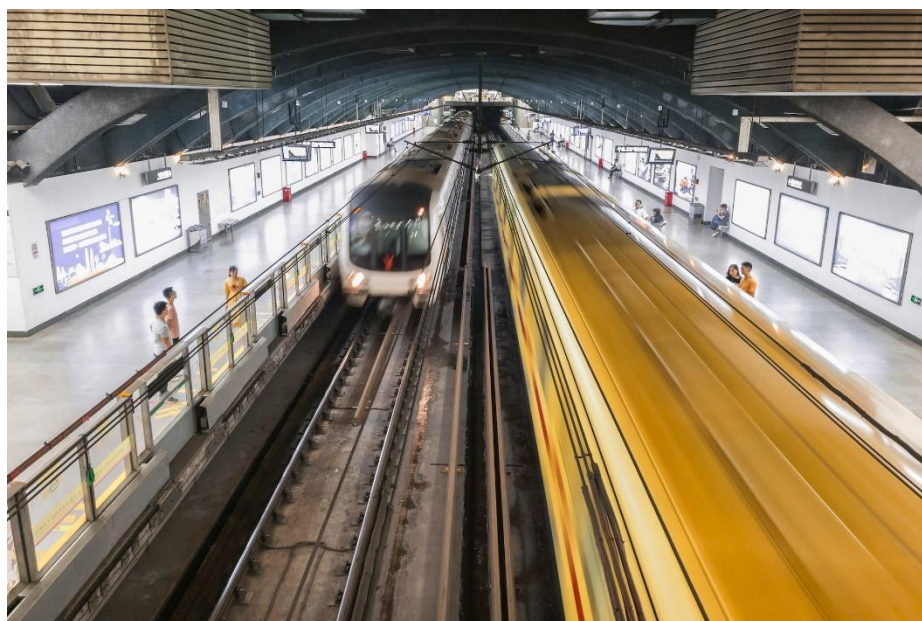
以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【香港オクトパスカードが中国の一卡通ネットワークに加入 中国本土300以上の都市で利用可能に】](#)

[【「投資中国年」、広東省にて外資企業誘致スペシャルイベント開催】](#)

[【2022年広東省経済統計速報発表 第二次産業経済貢献度は50%超】](#)

**【香港オクトパスカードが中国の一卡通ネットワークに加入 中国本土300以上の都市で利用可能に】**



3月8日、香港オクトパス（八達通）の非常勤会長である楊美珍氏は、オクトパスカードがまもなく中国大陸における全国的なネットワーク、「一卡通」に加入し、同社は2023年第2四半期において新たなカードとなる「八達通—全国通」をリリースすることを明らかにしました。1枚のカードで、全国320以上の都市の地下鉄やバスを利用することができ、香港市民の中国本土での移動がより

---

便利になります。

「八達通—全国通」のリリースに先駆け、香港オクトパスは、早くもオクトパスアプリを通じて「八達通銀聯カード」(Octopus UnionPay Card)を展開しました。八達通銀聯カードには UnionPay QR コード決済機能が含まれており、中国全国 3,000 万ヶ所の消費ポイントにおいて QR コードを読み取り決済をすることができます。

UnionPay の QR コードによる決済のため、中国本土だけではなく、海外、例えば日本、韓国にて、レジに UnionPay の QR コード表示があれば、八達通のアプリを立ち上げ、QR コードを読み取るだけで支払ができます。ユーザーはオクトパスに中国本土の携帯電話番号や銀行口座と結びつける必要はなく、申請手続きは迅速かつ簡単なものとなっています。楊美珍氏は、同機能の利用は香港中国間の往来再開後 5 倍に増え、申請者の数が徐々に増えていると述べました。

八達通銀聯カードとは別に、オクトパスは最近、中国銀行と提携しデジタル人民元カードをリリースしており、デジタル人民元は今後の大きなトレンドとなり、市民に新たな選択肢を提供することになるだろうと楊美珍氏は述べています。

深圳に入ると、香港市民はオクトパスアプリを使って、セルフサービスのカード発行機でデジタル人民元カードを簡単に購入、本土での買い物に利用することができます(オクトパスカードでの対応は後日追加予定)。特に、深圳市羅湖区内のデジタル人民元カード対応加盟店で利用すると、羅湖区政府から 20%の支出補助(1人 200 人民元まで)を受け取ることができます。支払いの過程においては携帯電話やネットワークを使う必要はありません。

より多くの香港市民に深圳で消費してもらい、景気回復の活力を注入するため、羅湖区政府は中国銀行と共同で、デジタル人民元の利点を生かし、香港市民に総額 1,000 万人民元のデジタル人民元消費補助を初めて提供しました。

---

デジタル人民元カードのセルフサービス型カード発行機が深圳で導入されるのは今回が初めてとなります。また、中国初のクロスボーダー向け消費クーポンの大規模な発行であるだけでなく、香港で主流の小額決済ツールと統合する初の試みでもあり、デジタル通貨クロスボーダーにおいての初めての試みとなります。今回のイベントは、大湾区経済の相互接続をさらに強化し、大湾区の革新的な活力を示すものでもあります。

また、香港の観光産業の回復に伴い、オクトパスは、観光客が香港到着後に実物のオクトパスの購入／申請の必要がない「ツーリストオクトパスアプリ」の提供を開始する等、観光客向けのサービスも積極的に展開しています。

### 【「投資中国年」、広東省にて外資企業誘致スペシャルイベント開催】



3月28日、広州で「投資中国年」投資促進キャンペーンの開会式が行われ、翌29日には広東省主催のスペシャルイベントが開催されました。中国商務部

---

は、引き続き「中国投資年」関連の 20 以上の重点イベントを開催する予定です。BASF、エクソンモービル、パナソニック、サノフィ、新華グループ、HSBC グループなど、100 社近くの著名多国籍企業がこの度一同に会し、中国、そして広東省とともに発展していきます。

開会式が行われた広東省は、中国の改革開放の成果を世界にアピールする重要な窓口であり、国際社会が中国の改革開放を観察する窓口でもあります。この新時代 10 年間において、広東省はますます門戸を広げ、累計 5,500 億米ドル以上の外資を誘致しており、これは中国内でトップクラスとなっています。

市場規模の面では、広東省の GDP は 34 年連続全国 1 位であり、省内において 1,600 万以上の企業体が大きく成長しており、4,000 万以上の中所得層が強い消費力と巨大な市場規模を有しています。産業環境の面においては、広東省はあらゆる産業が揃っており、兆人民元レベルの産業クラスターが 8 つも形成され、ハイテク企業は 6 万 9 千社を超え、地域イノベーションの総合力は 6 年連続で中国 1 位となっています。発展の優位性の面から見た場合、広東省は香港、マカオに隣接しており、海と川に面しており、陸海空いずれもの交通が非常に便利で、世界的な空港と港湾クラスターが内外を結び、自由貿易試験区、各種開発区を擁し、中国輸出入商品交易会（China Import and Export Fair）や中国国際ハイテクフェア（China Hi-Tech Fair）などのオープンプラットフォームもあります。

広東省は多国籍企業投資の重要な目的地であり、多国籍企業も広東省の開放の参加者、推進者、受益者となっています。

開始式で中国日本商会会長、パナソニック副社長執行役員の本間哲郎氏は「2020 年以降、中国の 14 の地域で新たな事業拠点を建設・拡大し、そのうち 6 地域が広東省です」と述べました。同社グループは 30 年以上にわたって広東省に投資し、11 の企業を設立、17,000 人の総従業員数を擁し、計 170 億人民元の年間売上高をあげています。

---

## 多国籍企業、中国の成長見通しに前向き

同日のフォーラムでは、**BASF** のグローバル・エグゼクティブ・ボードメンバーであるカミス博士が、中国には多くの急成長産業と **BASF** の多くの顧客が集まっており、**BASF** は中国市場に対して楽観的であり、中国への投資を増やし続けていると述べました。近年、海外の投資家は、中国のビジネス環境が継続的に最適化されていることを目の当たりにしており、中国市場に対して楽観的な見方をしているとされています。

「外商投資法の施行以来、投資環境は継続的に最適化・改善され、特に外資系企業による研究開発の支援・奨励という点で、顕著な成果を上げています。コロナ禍以来、中国経済は大きな困難の中で安定した成長を遂げ、外国企業の中国での発展に対する信頼をさらに固めています」本間氏は流暢な中国語で見解を述べました。

同時に、大湾区は制度や政策の面で独自の優位性を持っており、外国企業のビジネス展開に新たなチャンスをもたらしています。世界的に著名な製薬会社であるサノフィ・大中華地区の副社長である朱海鸞氏は、大湾区自体が特別な立地優位性を持っており、より国際交流を促進し、バイオ医薬品産業の発展にとって非常に有利であり「特に近年、大湾区は『香港・マカオ薬械通』を導入・実施し、海外で優先発売されている革新的な医薬品を中国市場にいち早く導入できるようになっています。その結果、我々のようなイノベーション推進企業がさらに刺激を受けています」と述べました。

## 外資系企業の新たな動きはイノベーションやハイエンドへ

中国の急速な経済発展とイノベーション能力の向上に伴い、ますます多くの外資系企業が中高価格帯の産業を中国に立地させ、海外と国内のイノベーションの融合を推進し始めています。

---

2030年までに100億ユーロを投資するBASF広東統合基地は、BASFの歴史上最大の投資であり、世界の化学産業の「灯台型」プロジェクトであるとカミス博士は述べています。革新的なプロセスと100%グリーン電力の使用により、基地のCO2排出量を半減させ、中国のカーボンニュートラルの目標に貢献することができます。

パナソニックグループは、中国においてスマートホーム、新エネルギー自動車部品、金融製造の3大重点事業分野を確立し、先進製造とイノベーション研究開発のレイアウトをさらに強化しています。本間氏によると、パナソニックはすでに中国において5つの「ゼロカーボン工場」を実現し、無錫市でグループ初の新エネルギーCCHP（Combined Cooling, Heating and Power）の実証プロジェクトを完了させたと述べました。

サノフィの中国にある3つの製造拠点も、追加資本を投入して拡張しています。「その中でも深圳のワクチン工場は、サノフィのインフルエンザワクチンをすべて現地生産している中国初の唯一の拠点で、これは、大湾区における革新的なレイアウトをさらに強化するために、しっかりとした土台を築くものとなります」と朱海鸞氏は述べています。サノフィは、このワクチン工場を足がかりに、深圳にワクチン関連のイノベーションセンターを設立し、上下流企業間の研究開発協力をさらに推進する予定です。

### 多国籍企業が横琴を訪れ、発展を視察

3月29日午後、主催者は「投資中国年」の一環として、横琴・広東・マカオ深層協力区（以下、「協力区」）の現地視察を企画しました。

広東省のスペシャルイベントにおいて、協力区執行委員会副主任の符永革氏は、協力区の投資環境と優遇政策を紹介しました。協力区は独自の立地優位性、アクセスの良い交通網、革新的なメカニズムやシステム、国際的ビジネス環境を持

---

っており、企業や人材の発展に優れた条件を提供できるとし、各国の企業代表が交流や投資のために横琴を訪れることを歓迎しました。

今回の訪問では、協力区経済発展局の張戈副局長と投資促進処の関係者が一行と直接面会、交流を行いました。張戈副局長は、「横琴・マカオ一体化」発展というトレンドのもと、協力区においては、マカオや国際レベルのビジネス環境を構築し、多くの優遇政策を順次導入し、多国籍企業、多国籍機関に幅広い投資機会と発展の可能性を提供することにより、各企業・機関の代表者が今回の訪問を機に、協力区に対する理解と知識を深めることが期待される、と述べました。

今回の協力区訪問の「投資中国年」代表団は、Danz グループ、マレーシア宏毅グループ、東亜銀行（中国）有限公司、資生堂（中国）投資有限公司などの多国籍企業、金融機関、珠海市招商署、メディアの代表で構成されています。

## 【2022 年広東省経済統計速報発表 第二次産業経済貢献度は 50%超】



---

3月31日、広東省統計局と国家統計局広東調査総隊は共同で「2022年広東省国民経済・社会発展統計公報」（以下、「統計公報」）を発表しました。

当データによると、2022年、広東省 GRP（地域総生産）は13兆人民元の大台に近づき、成長率は1.9%でした。この1年間、広東省の第二次産業は2.5%成長とGRP全体の52.9%に相当し、2021年と比較しさらに上昇しました。同年の全工業の付加価値額は前年比2.6%増となりました。一定規模以上工業付加価値額は1.6%増加し、そのうち、ハイテク製造業の付加価値額が29.9%を占め、先進製造業の付加価値額のシェアは55.1%に達しました。

広東省統計局が発表した経済オペレーションに関する分析によると、過去1年間で、広東省は経済を安定させるための一連の政策の継続的な推進により、景気は、一年を通じて変動があったものの、回復方向となっています。

#### 都市と地方の住民の所得格差はさらに縮小

全体として、2022年における広東省の供給側は基本的に安定し、固定資産投資の仕組みは最適化され、マーケットにおける販売についても全体的に安定しており、輸出入総額は緩やかな成長を達成しました。その他、公共サービスが継続して強化され、経済発展の質をさらに向上させました。

GRPの統一集計方法による結果では、2022年の広東省のGRP（会計速報値）は12兆9,118億5,800万人民元となり、前年比1.9%の増加となりました。一人当たりGRPは101,905人民元（約15,151米ドル）で、1.7%の増加でした。

地域別では、珠三角中核地区が広東省GRPの81.1%を占め、東部地区が6.1%、西部地区が7.1%、北部生態開発地区が5.7%となっています。珠三角中核地区、東部地区、西部地区、北部生態開発地区のGRPは、前年比で2.1%、0.6%、0.8%、0.9%の増加をそれぞれ記録しました。

2022年、広東省の一人当たり可処分所得は47,065人民元となり、前年比4.6%増となりました。一人当たり可処分所得の増加と同時に、都市と地方の住



---

民の所得格差のさらなる縮小もみられました。

都市一地方別にみると、都市住民の一人当たり可処分所得は 56,905 人民元で 3.7%の増加、地方住民の一人当たり可処分所得は 23,598 人民元で 5.8%の増加となっています。都市と地方の住民の所得比は 2.41 : 1 と、前年の 2.46 : 1 からさらに減少しました。

雇用の安定面では、2022 年には新型肺炎流行や大卒者の人数が過去最高となるなどの影響が重なったにもかかわらず、広東省の雇用は基本的に安定状態を維持しました。2022 年 12 月末までに、広東省内の市町村で合計 132 万 600 人の新規雇用が増え、合計 10 万 5,100 人の就職困難者が就職を実現しました。

### 製造業投資は 2 年連続で 2 桁成長を維持

「統計速報」によると、2022 年において広東省の工業投資は 10.3% 増加し、固定資産投資の 27.9% を占めました。これは、高品質開発を達成し、広東省の工業企業が生産能力を拡大、変革、アップグレードし続けるための優れた土台を築いたことを示しています。

その中で、先進製造業投資 17.8% とハイテク製造業投資 25.5% と、前年比で大幅に増加しました。これらは、製造業投資が、2021 年の 18.7% の増加に加えさらに 12.2% の増加を実現し、2 年連続で 2 桁増となったことの下支えとなりました。

2022 年、広東省内のハイテク製造業の付加価値額は前年比 3.2% 増となり、一定規模以上工業付加価値額の 29.9% を占めました。そのうち、医薬品製造業は 15.1%、電子・通信設備製造業は 1.0%、コンピューター・オフィス設備製造業は 12.6%、航空・宇宙及び設備製造業は 7.1%、医療機器設備・器具器械製造業は 8.3% の成長を遂げています。

先進製造業の付加価値額は前年度比 2.5% 増加し、一定規模以上工業付加価値額の 55.1% を占めました。中でも、ハイエンド電子情報製造業は 1.6% 増、バイ

---

オ医薬・高性能医療機器製造業は 12.5%増、先進設備製造業は 9.6%増となりました。

特筆すべきは、この 1 年間で、広東省の新エネルギー産業が急速に成長したことです。新エネルギー産業クラスタは、売上高が 19.7%増、付加価値額が 12.6%増となりました。そのうち、2022 年の新エネルギー車の生産台数は 129 万 7,300 台に達し、2021 年比で 142.3%増加、充電スタンドは 91.2%、風力発電装置は 52.7%、太陽電池は 43.1%の成長を見せました。

同様の成長傾向は新エネルギー製品の輸出にも反映されており、昨年、広東省の電気自動車、太陽電池、リチウムイオンバッテリーの輸出はそれぞれ 4.7 倍、45.3%、42.6%と大幅に増加しました。

## 【参考資料】

- ・香港オクトパスカードが中国の一卡通ネットワークに加入 中国本土 300 以上の都市で利用可能に  
- [URL 1](#)  
- [URL 2](#)  
- [URL 3](#)
- ・「投資中国年」、広東省にて外資企業誘致スペシャルイベント開催  
- [URL 1](#)  
- [URL 2](#)
- ・ [2022 年広東省経済統計速報発表 第二次産業経済貢献度は 50%超](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、  
右記の QR コードから登録をよろしくお願いたします。  
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度  
情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====  
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・  
中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります  
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所  
担当: 新井 茂 <[s.arai@aoba.com.hk](mailto:s.arai@aoba.com.hk)>